

# 国語科 学習指導案

## 指導者

1. 日時 令和6年9月25日(水) 第2限

2. 場所 2年2組

3. 学年・組 第2学年2組(27人)

4. 単元(題材)名 「お手紙」(光村図書)

5. 単元(題材)の目標

- ・身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。
- ・文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想を持つことができる。
- ・文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。
- ・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。

## 6. 教材観

本教材「お手紙」は、この物語の主な登場人物のがまくんとかえるくんがお手紙を通して、お互いのことを大切に思っていることが伝わるような心温かい物語である。児童にとって身近なカエルやカタツムリなどが登場するので、親しみを持ちやすく、また、登場人物も少なく、会話文も多いので人物同士の関係が把握しやすい。そして、この物語はがまくんの家→かえるくんの家→がまくんの家という3場面に分けて構成されており文章と場面ごとの挿絵を照らし合わせて読み取ることで、子どもたちは登場人物に共感でき、2人の心情の変化や心のつながりに共感しながら読むことができる。

## 7. 児童観

本学級では、男女仲が良く、外で元気に活動する児童が多い。読書の時間では、積極的に本を読もうとしている児童もいる。そして、授業中では、意欲的に自分の意見を発言し、活発に意見交流ができる児童が多い。また、文章を書くことに関しては、登場人物の気持ちを想像して書くことや、自分の気持ちを書くことができる。その一方で、発言する児童が固定化する場面や、書くときに支援が必要な児童もある。また、発問をした際にふざけて話からそれてしまう場面があったり、音読をする際に役に入るのが、まだ慣れておらず恥ずかしがる児童もいる。

## 9. 指導観

本単元は、登場人物と自分を比べて読み、感想を持つ力をつけることと、登場人物がしたことを表す言葉に着目して様子を思い浮かべながら読むことがねらいである。そのために、まず物語の流れを把握する必要がある。そこで、会話文や挿絵をもとに登場人物の行動や様子を読み取る。そして、場面ごとに登場人物の気持ちを想像する。その際に、登場人物の立場になって、考えることができるようにする。最後に、登場人物のどちらかに手紙を書く活動を通して、文章の内容と自分の体験を結び付けて感想を持てるようにする。

## 10. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度
・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	進んで文章の内容と自分の体験とを結びつけて感想をもち、学習課題に沿って、登場人物に手紙を書こうとしている。
・文の中における主語と述語との関係に気づいていられる。	・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想を持っている。	

## 11. 単元指導計画(10時間)

場面 ①がまくんの家 ②かえるくんの家 ③がまくんの家

時	○主な活動	●目標	評価規準
1.	○朗読をし、心に残ったことの感想を書く。 ○登場人物の確認 ○学習の見通しを持つ。 ○3つに場面を分ける。	●物語を読んで感想を持つとともに、单元の見通しを持つことができる。	心に残ったことを詳しくかけている。(思考・判断・表現力)

2. ○「誰が」「どこで」「何を言ったのか」を確かめる。①②③ ●場面の移り変わりや、登場人物の会話など、内容の大体を捉えることができる。	登場人物の気持ちなどを理解しながら、音読をしている。(主体的に学習に取り組む態度)	8. ○登場人物と自分を比べ感想を書く。 ●それぞれの登場人物と自分を比べ、感想を持つことができる。	・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想を持っていられる。(思考・判断・表現力) ・進んで文章の内容と自分の体験とを結びつけて感想をもち、学習課題に沿って、登場人物に手紙を書こうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
3. ○「どこで」「何をしたか」「どんな様子なのか」を確かめる。①② ●登場人物の行動や様子など、内容の大体を捉える。	・がまくんの悲しく諦めた様子が語尾の変化に表れていることに気づいている。(知識・技能) ・登場人物の行動を捉え、その様子を想像している。(思考・判断・表現力)	9. ○「がまくん」と「かえるくん」のどちらかに手紙を書き、発表する。 ●登場人物を選び、自分と比べて感じたことを手紙に書いて交流することができる。	・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。(知識・技能) ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想を持っていられる。(思考・判断・表現力) ・進んで文章の内容と自分の体験とを結びつけて感想をもち、学習課題に沿って、登場人物に手紙を書こうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
4. ○「誰が」「どこで」「何をしたのか」「どんな様子なのか」を確認する。③ ●登場人物の行動や様子など、内容の大体を捉えることができる。	・かえるくんが、がまくんに手紙を書いたことを読み取れる。(思考・判断・表現力) ・登場人物の行動を捉え、その様子を想像している。(思考・判断・表現力)	10. ○「お手紙」の学習を振り返る。 ●単元全体を振り返り、今後の読書意欲を高めることができる。	登場人物の行動や様子を想像し、積極的に自分と比べて感想を交流しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
5. 本時 ○「かえるくん」が何度も外を見たわけと、手紙の内容を言ってしまった理由を考える。 ●「かえるくん」が、何度も窓から外を見た時、手紙の内容を言ってしまった時の理由を想像することができる。	・場面の様子が分かる言葉を確かめ、登場人物の行動と理由を想像している。(思考・判断・表現力)	12. 本時の展開(5／10時間) 本時の目標：3の場面のかえるくんの気持ちについて考えよう。	
6. ○「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」といったときの「がまくん」がどのように言ったのかを考える。 ●「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」といったときの「がまくん」の様子について、具体的に想像することができる。	「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」というセリフから手紙をもらえることと、手紙の内容に感動したがまくんの気持ちを、想像している。(思考・判断・表現力)	導入(5分) ○前時の学習を振り返る。 ○本時のめあてと学習の流れを確認する。 3ばめんのかえるくんの気持ちについて考えよう。	・ノートを見返すとよいことを気づかせる。
7. ○手紙を待っている「がまくん」と「かえるくん」は、どんなことを考えていたかを想像する。 ●手紙を待っている2人が考えていたことについて、具体的に想像することができる。	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(思考・判断・表現力)		

学習活動	指導上の留意点	評価規準
導入(5分) ○前時の学習を振り返る。 ○本時のめあてと学習の流れを確認する。	・ノートを見返すとよいことを気づかせる。	

展開 (30分)	<p>○「お手紙」の3場面の朗読を聞き、「まどからゆうびんうけを見ました。」「まどからのぞきました。」「まどからのぞきました。」と言う3つの文章を見つけ教科書に線を引く。</p> <p>○何度も外をのぞくかえるくんの気持ちを考える。</p> <p><b>かえるくんが3回も外を見たときの気持ちを考えよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かたつむりくんまだこないのかな。</li> <li>・早くがまくんをよろこばせたいのにな。</li> <li>・かたつむりくんもしかして来ないのかな。しんぱいだな。</li> </ul> <p>○お手紙を出したことを言ってしまうかえるくんの気持ちを考える。</p> <p><b>どうしてかえるくんはお手紙を出したことを言ってしまったんだろう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早くがまくんの喜んでいる顔が見たくて待てなかった。</li> <li>・悲しんでいるがまくんを元気づけてあげたかったから。</li> <li>・手紙を早く来てほしいのになかなか来なかったから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの文章が書かれた紙を朗読後に黒板に貼る。</li> <li>・3つの文章が教科書のどこに書いてあるか確認する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1回目から3回目にかけて気持ちに変化はあるかな？」と聞き、徐々にかえるくんの気持ちが強くなっていることに気づかせる。</li> </ul> <p><b>かえるくんが3回も外を見たときの気持ちを考えよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートに自分の意見を書く。</li> </ul>	
	<p><b>まとめ(10分)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○がまくんか、かえるくんに今日の感想を書き、発表する。</li> <li>・がまくん かえるくんから手紙がとどくと分かってうれしいね。ぼくもがまくんに手紙を書きたいな。</li> <li>・かえるくん 手紙を書いたことを言ってしまったね。でも、気持ち分かるよ。わたしもお母さんにサプライズをかくせなかったことがあるよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本当に手紙を書くように書かせる。</li> <li>・自分にも似たような経験がないか、自分だったらどうするか、など、自分と比べて感想をもつことができるように声かけをする。</li> </ul>	<p>進んで文章の内容と自分の体験とを結びつけて感想をもち、学習課題に沿って、登場人物に手紙を書こうとしている。(主)</p>

### 13. 板書計画

<p>かえるくんが3回も外を見たときの気持ち。 考えよう。</p> <p>① まどからゆうびんうけを見ました。 ② まどからのぞきました。 ③ まどからのぞきました。</p> <p>なぜお手紙のことを言つてしまつたのか。</p>
--